

目 次

はしがき

第 1 章 国家安全保障の脱構築 …………… 遠藤 誠治	1
はじめに	1
1 安全保障概念の深化 (deepening) と拡大 (broadening)	4
2 なぜ脱構築なのか	17
3 本書の構成	24
第 2 章 冷戦下の僑郷 …………… 川島 真	36
——金門島の生活と華僑送金に見る断絶と変容	
はじめに	36
1 戦後初期の新たな課題——ペストと海賊、国家による徴兵	38
2 僑郷の再建と課題	41
3 軍事前線化と社会生活	45
4 軍事最前線化と僑郷——華僑送金から見た連続・非連続	50
おわりに	56
第 3 章 安全保障とアイデンティティ …………… 綾部 真雄	62
——タイ山地民の国籍問題をめぐる 2つのコンテクストから	
はじめに——報われないポリティクス	62
1 「人間の安全保障」とアイデンティティ	65
2 タイ山地民と国籍問題	68
3 メタコンテクスト	78
4 サブコンテクスト	83
5 本質主義批判と「人間の安全保障」	90
おわりに——エスニック・セキュリティ論の進展に向けて	94

第4章 安全と豊かさをつくる人々 …………… 竹中 千春	101
—南アジアの周縁から	
はじめに—安全と豊かさをつくるのは誰か	101
1 国家・自由・暴力	102
2 草の根の暴力社会と暴力の連鎖	104
3 盗賊地帯の NGO と女性に対する暴力との戦い	109
4 女性たちの自助的ネットワーク	114
おわりに：格差と暴力を超えて—草の根社会から平和をつくる	118
第5章 文化多様性と安全保障(セキュリティ) …川村 陶子	126
—ドイツ多文化社会の経験から考える	
はじめに—文化多様性の両義性	126
1 文化多様性と安全保障をめぐる諸論点	128
2 ドイツにおける移民のセキュリティ化	134
3 二項対立図式をのりこえるインタークルトゥーア構想	147
おわりに—いま、ここに生きる〈ひと〉のセキュリティ	151
第6章 宗教と安全保障 …………… 木村 正俊	161
はじめに	161
1 宗教と外部社会	163
2 ハマースとハマース憲章	167
3 ハマースと一般的原則と政策	172
おわりに	176
第7章 国家安全保障の脱構築の先に …………… 遠藤 誠治	188
はじめに	188
1 安全保障研究の価値的優先順位	189
2 国家安全保障の持続性	194
3 国家安全保障の脱構築から見る東アジア	197
おわりに	200